

地域の力を実感

～ふるさと大好き・ふるさとで育つ子どもたち～

校長 館林 美和

夏休みが明け、前期の締めくくりと運動会に向けての取組が始まり、気持ちを新たに引き締めてがんばりを見せている子どもたちです。この夏休み、地域の催し物がたくさんありました。落合夏祭り、神坂地区夏祭り、馬籠のパターゴルフ・魚釣りイベント、夏休み子ども塾、高福寺の寺子屋、神坂学校三味線おさらい会…。子どもたちが地域の方と触れ合ったり、親子ででかけたりできる機会であり、また夏休みの子どもたちの楽しみや居場所づくりとしての素敵な企画ばかりでした。統合して校区が広がったことから、参加できる範囲も広がりました。

夏休み子ども塾では、90人以上の参加がありました。学習の時間には、夏休みの宿題やお家の方に用意してもらった問題集、読書などに取組んでいました。分からないところがあると、中学生ボランティアの皆さんが丁寧に教えてくれました。日替わりの企画では、工作、音楽、自然科学などいろいろな分野から内容が用意され、子どもたちの好奇心をくすぐり、「面白かった」「楽しかった」「難しかった」など気持ちを動かしてくれるものばかりでした。

このように地域の方々の『地域で子どもたちを育てる』熱心な活動により、子どもたちの心は満たされ、豊かになり、夏休み中も笑顔になれる時を支えていただけたと思います。参加した子の中には「大きくなったら、中学生ボランティアでも参加したい。」という思いをもつ子もいました。中学生との関わりを通して、誰かの役に立つことや活動に参加することの面白さを体験できたからこそ表現された言葉だと思います。人との関わりによさを感じ、社会参画へ目を向けていく素地を培うことができるこの地域で育つ子どもたちは、本当に幸せだと感じました。

子どもたちには、いろんなことを見たり聞いたり体験したりして視野を広げてほしいと常々願っています。遠くの知らないことを知ることも大事。でも、自分の育ったふるさとのことはもっと知り、愛着をもってほしいと思います。これからも、落合・神坂地区それぞれでの秋祭りや文化祭、宿まつり、そして落合ダム 100 周年記念行事と地域の行事が多く行われる季節となります。学校でも地域行事の参加を呼びかけ、子どもたちの声や笑顔で地域を元気にできるようにしたいと思います。



～夏休み作品展～

一人一作品が体育館に集まり、多くの方に見ていただきました。

夏休みの家族との楽しい思い出を作品にしたもの、身近な不思議を調べたもの、家族や自分の生活に役に立つもの、自分の得意なことに打ち込んだもの、授業で学んだことを発展させたもの…計画づくりや作成中にもお家の方との会話がたくさんあったことと思います。じっくり見ていると、そんな背景が浮かんでくるような見応えのある作品ばかりでした。この作品作りから、自分の「好き・得意」が広がっていくといいなと思います。



統合に係る会議が一区切りしました。

9月2日（水）に第9回統合準備委員会が神坂事務所で終わり、統合後の学校の様子を報告いたしました。スクールバスでの登下校、学校の改修、PTA や学校運営協議会等の運営など、子どもたちや保護者の方々がスムーズに統合後の学校に対応できるように、この委員会で協議を重ねていただけたおかげで今日が成り立っています。

落合小学校を代表して、吉村慎太郎様、吉村正吾様、加藤晴美様、松葉舞様、荒井真美様、神坂学校を代表して、原智浩様、倉橋操様、洞田歩様、平林孝浩様、原圭佑様、吉村幸孝様、塚田隆太様、原俊司様、今井香様、木村紫様が保護者の代表としてお声を届けてくださいました。長きにわたりご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。他にも中学校、園、各地区の代表の方にも統合準備委員会に携わっていただきました。重ねてお礼申し上げます。この日をもって統合準備委員会は解散となりましたが、よりよい学校づくりはまだ始まったばかりです。今後とも多くの目で見守っていただけますよう、お願い申し上げます。